

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は2022年度日本陸上競技連盟規則・競技会における広告及び展示物に関する規程、TR5及び本大会の競技注意事項によって実施する。

2 新型コロナウイルスの感染拡大防止について

- (1) 競技者・コーチ（ID申請者）は4月3日（日）～4月9日（土）の1週間分の体調管理を行い各チームの責任者がきちんと保管しておくこと。
- (2) 競技場3階中央ゲート入口付近で非接触での検温を実施する。競技者及び監督、コーチなどチーム関係者は検温を受けてIDカードを受け取ること。
- (3) 当日検温で37.5℃以上の場合、参加を認めない場合がある。大会3日前から当日の間に新型コロナウイルス感染の疑いの症状がある場合は参加を認めない。
- (4) 待機所、練習場・招集所等については競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- (5) 飛沫拡散を防ぐ為、声を出しての応援、集団での応援や大声・近距離での会話を避けること。
- (6) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者（熊本陸上競技協会）に報告すること。

3 招集について

- (1) 招集所はメイン競技場100mスタート後方第4ゲート裏付近に設ける。
- (2) 招集時間は競技時刻20分前開始、10分前完了とする。
- (3) 招集の方法については、次の通りである。
 - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用靴のスパイクピンおよび靴底の厚さ・競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ類の商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバー標識（2枚）を受け取る。
 - ② 携帯電話等、TR6.3.2に関わる機器を持ち込んでないか確認を受ける。
 - ③ 代理人による最終点呼は認めない。
 - ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権したものと見なされ出場できない。

4 競技場内への入場について

- (1) 出発係の指示により、出発待機所からユニフォーム姿となり競技位置へ向かう。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーンを通り退場する。1～6位の競技者を、入賞者控室に誘導する。
- (3) 会場内への入退場は、必ずIDカードを明示する。また、コーチは会場において、常にIDカードが確認できるように携帯する。

5 欠場について

- (1) 欠場する者は、陸連規定の「欠場届」（TICにも用意）に必要事項を記入し、熊本陸上競技協会へFAXで届けること。大会当日はTICへ届けること。
- (2) 4月8日（金）12時以降に欠場届が提出された場合はDNSとする。
熊本陸上競技協会 FAX.096-388-1688

6 競技用靴について (TR5および競技用靴規程を適用する。)

スパイクピンの長さは、9 mm以内。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
靴底の厚さは、TR5.2のとおりとする。(800m以上の種目は25mmまでとする。)
ただし、小学生は除く。

7 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は大型スクリーンおよびアナウンスで行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、TR8.2に定められている時間内(同一日に次ラウンドが行われる場合にはアナウンス後15分以内、それ以外は30分以内)に、競技者自身または代理人が、TICを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。

8 表彰について

各種目の1位から6位までの競技者の表彰は、正面スタンド前の表彰台で行う。

雨天時は、1Fロビーで行う。

対象となる競技者は、上下トレーニングウェア(またはTシャツ、下はズボン)を着用したうえで小堤の場所に集合すること。

※アスリートビブスはユニフォームからトレーニングウェアに付け替えること(胸部のみ)

9 ドーピングコントロールについて

(1) ドーピングコントロール

ワールドアスレティックスアンチ・ドーピング規則及び規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規定に基づいて行われる。本大会の前もしくは後のドーピング検査で、尿又は血液(或は両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。尚、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

(2) TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は”治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会ホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

(3) 18歳未満の競技者の親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

世界アンチ・ドーピング規定、同国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規定により、18歳未満の競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得することが必要となる。

- ① 本大会に参加する18歳未満の競技者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロード出来る。
- ② 18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名した当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。ドーピング検査実施時に親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング検査手続に一切影響がないものとする。

1 0 競技場内で着用できる衣類と持ち込める物品について

競技会における広告および展示物規程により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については下記の様になっている。

事前に確認しておくこと。違反した場合にはテープ等でマスキング処置を行う。

<アスリートキット>

- (1) 競技用の衣類（トップス、ベスト、パンツ、レギンスなど）、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット、トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット

○上衣 下衣 [それぞれ] *スポンサー名/ロゴは上下全く同じものでなければならない。

- ・製造会社名/ロゴ： 1つ/一箇所 40cm²（高さ5cm）まで
- ・スポンサー名/ロゴ： 1つ/一箇所 40cm²（高さ5cm）まで
- ・所属団体名/ロゴ または 学校名/ロゴ：

[所属団体名/ロゴ]

上衣 前後 各一箇所 *長さは問わないが、高さは 前：5cm、後：4cmまで

下衣 一箇所 *長さは問わないが、高さは 5cmまで

[学校名/ロゴ]

上衣・下衣 大きさの規制なし

- (2) 競技者が着用するあらゆるその他のアパレル（靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、メガネ、サングラス etc）

- ・製造会社名/ロゴ： 1つ/一箇所 6cm²（高さ3cm）まで
- *メガネおよびサングラスについては、製造会社名/ロゴを二箇所掲出できる。
- ・所属団体名/ロゴ または 学校名/ロゴ： 1つ/一箇所

[所属団体名/ロゴ] 6cm² まで

[学校名/ロゴ] 大きさの規制なし

<個人の所有物およびアクセサリー>

- (1) タオル バッグ

- ・製造会社名/ロゴ： 1つ/一箇所 40cm²（高さ5cm）まで
- ・スポンサー名/ロゴ または競技者名/競技者個人のハッシュタグ：
2つ/二箇所 それぞれ40cm²（高さ5cm）まで

*バッグについては、スポンサー名/ロゴのうち1つ/一箇所を、以下のいずれかに変更できる。

所属団体名/ロゴ、学校名/ロゴ： 一箇所

[所属団体名/ロゴ] 長さは問わないが高さは5cmまで

[学校名/ロゴ] 大きさの規制なし

- (2) 飲料ボトル

- ・ドリンクの提供者、製造会社、および（または）アスリートスポンサー名/ロゴ：
2つ/二箇所 それぞれ 40cm²（高さ5cm）まで
- *ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと。

1 1 般注意事項

- (1) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (2) 競技会での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 「記録証明書」を希望する競技者は、TICに500円を添えて申し込むこと。
- (4) 荒天により競技を一時中断もしくは延期することがある。
- (5) 競技場内での写真撮影は、報道関係者のみとし大会本部の許可を受けること。

1 2 練習会場の使用について（練習会注意事項）

- (1) 練習及び選手待機所はえがお健康スタジアムおよび補助競技場を利用できる。雨天練習場は、

新型コロナ感染症対策のため使用できない。

- (2) 練習は、各個人の責任において行い、事故防止には万全を期す。大会当日の練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は問わない。
- (3) 荷物などは、個人が責任を持ち管理する。
- (4) 練習会場内への入退場は、必ずIDカードを明示する。また、コーチは練習会場において、常にIDカードが確認できるように携帯する。